

資料 3

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（生涯学習課）

タイトル
たまきはる 命どう宝 荒井退造忌展について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
栃木県宇都宮出身で、太平洋戦争末期の沖縄県警察部長として、多くの島民を疎開させ戦火から命を救った荒井退造（あらいたいぞう）を紹介する企画展「たまきはる 命どう宝 荒井退造忌展」が6月18日から7月3日まで栃木県指定文化財 瀧澤家住宅内鐵竹堂（さくら市櫻野 1365）で開催される。展示と6月26日（日）午後2時から荒井退造の講座はNPO 菜の花街道 荒井退造顕彰事業実行委員会の協力によるもの。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
瀧澤家住宅で6月18日から7月3日まで開催する展覧会「たまきはる 命どう宝 荒井退造忌展」。タイトルのたまきはるは命の枕詞、命どう宝は荒井退造が口にしてきた命こそ宝、そして会期中記念講座がある6月26日が荒井退造の命日となるためです。 展示内容は NPO 菜の花街道 荒井退造顕彰事業実行委員会の協力で、写真や業績の紹介パネル、資料となります。 荒井退造（1900～1945）は宇都宮市出身の内務省官僚で、1943年7月沖縄県警察本部長として着任後、太平洋戦争の沖縄戦時、官僚の立場から沖縄県民の疎開・避難・食糧確保などに命を尽くした人物です。米軍の空襲が激しくなる1945年3月末～5月末、島田叡（あきら）知事や荒井退造らは、那覇市内に地下壕を掘って職務します。今回展示される斧はその防空壕跡から発見され、寄贈となったものです。そして6月23日参謀本部の自決により、組織的な沖縄戦争は終結。その3日後、6月26日荒井退造と島田叡の2人は突然姿を消し、最後は分からないとされています。 今回の展示は栃木県出身の荒井退造の業績を展示することにより、知られざる栃木県出身の偉人と平和や命の大切さを再認識するもの。 最後は分からないものの、姿を消した6月26日を広く荒井退造の命日としており、その6月26日に室井光氏の記念講演会を同会場2時より実施します。
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
さくら市教育委員会 生涯学習課 文化振興係 電話 028-686-6621

※ 1案件ごと1枚作成してください。